

鹿教湯三才山リハビリテーションセンター

ほっとすまいる ニュース

HOT SMILE NEWS

2023

秋

第143号



目次

再編成I期竣工について 2-5
おすすめレシピ「サンマのカルパッチョ」..... 6

トピックス・レポート 7

鹿教湯病院理念

私たちは、地域の皆さんが自分らしく生き生きと輝いて暮らせるように、リハビリテーションを通じて納得できる保健・医療・福祉活動を実践します。



鹿教湯病院
再編成I期工事竣工
本館運用開始



「いあごまひ」

鹿教湯三才山リハビリテーションセンター

統括院長 おおさわ みちひこ
大澤 道彦

この度、鹿教湯病院の敷地内に8階建ての新病棟が完成し、10月2日に竣工式を済ませることができました。鹿教湯病院と三才山病院は一つに統合され、新しい鹿教湯病院として2023年10月16日に鹿教湯温泉の地で再出発致しました。

三才山病院は2023年10月14日をもって長い歴史に終止符を打ちました。しかし患者さんや職員だけでなく、病院理念も含めた三才山病院の全てが鹿教湯病院に引き継がれますのでご安心ください。

鹿教湯病院は475床の規模となり令和6年度中には診療棟も完成します。もうしばらくの間、II期工事が続きます事をご容赦いただきたいと思います。

今後は医療・福祉・保健サービスの質をさらに向上させて、地域の皆様からさらに大きな信頼を得られる事を目標にしつつ、職員にとっても働きやすい職場環境を目指します。今後の社会情勢がどう変化しようとも自分たちの使命を継続していけるリハビリセンターを作り上げ、これからも地域医療を守っていききたいと思えます。



「新棟開設の日を迎えて」

鹿教湯三才山リハビリテーションセンター
鹿教湯病院

院長 よしだ くにひろ
吉田 邦広

2021年8月に始まった再編成第I期工事が終了し、2023年10月をもって、新棟の開設を迎えました。ここに至るまで設計監理とは何度もプロジェクト会議を重ねました。立地条件、時間、予算など種々の制約がある中で、随所に職員の思いが詰まった建物になったと思えます。

これに伴い、10月14日に三才山病院は34年の歴史に終止符を打ちました。9月23日に「閉院にもなう感謝の集い」がありました。その中で「三才山スピリット」「三才山愛」という言葉を何度も耳にしました。あらためて職員の一体感、病院に対する愛着を実感しました。三才山スピリットを継承するとは、病院に対する職員の帰属意識を高め、職員の一体感、連帯感を強くすることだと理解しています。一人一人が他人、あるいは他部署を思いやることができる病院でありたいと願っています。

なお、新棟の開設に合わせてホームページも刷新します。是非、左記をご覧ください。

鹿教湯三才山 リハビリ
テーションセンターホームページ



<https://www.km-rehacenter.jp/>

本館フロアマップ



1階

栄養科・厨房



厨房設備をすべて一新し、電化厨房設備を採用しました。また、広い空間を確保し調理・洗浄・保管等を機能的に管理できるよう設計しました。

ラウンジ・手術室

職員の休憩スペースとして、ラウンジを2室設置しました。また、様々な症例に対応出来る手術室も設置しました。



2階

外来(救急外来)



診察室を11室設置し、複数の診療科を一元的に診療できる体制を整備しました。また、患者さんのお名前ではなく、受付番号にて診察を行うためテレビモニターによる番号表示システムを導入しました。救急外来は、発熱者とそれ以外の救急患者さんの動線を分けるため、救急診察室を2室設置しました。

歯科

診察室を6室設置し、広く清潔感のあるスペースを確保しました。



受付・入退院支援センター



受付・会計窓口の脇に入退院支援センターを新たに設置しました。地域医療連携課スタッフをはじめソーシャルワーカーやケアマネジャーをワンフロアに集約し、患者さんの入院から退院までのサポートをスムーズに行えるようにしました。

コンビニエンスストア

正面玄関脇に設置し、広い店舗面積を確保しました。商品も充実させイトインコーナーも隣接しています。

3階

リハビリテーション室



理学療法科・作業療法科・言語聴覚科・心理科を1カ所に集約することにより連携強化をはかりました。総面積1,013㎡を有し、622㎡と広い訓練室や居住空間を想定した作業療法室、6室の言語聴覚室、外来専用エリアを設置しました。

訓練室内には、患者さんの負担を軽減し、より質の高い訓練を行うためにリフト免荷装置を導入しています。

(リフト免荷装置・患者さんをリフトで持ち上げることにより、足の負担を軽減し歩行訓練を行うための装置)

健康管理科(人間ドック室)



本館3階に移転しました。

利用者さんに居心地の良い環境と質の高いサービスを提供します。ぜひ、当院人間ドックをご利用ください。



病棟案内(4階～8階)案内

●本館4階【病棟】
東3階病棟(病床数40床)の機能を移転し、一般病棟40床を設置しました。

●本館5階【病棟】
南5階病棟(病床数49床)と三才山病院6病棟(病床数34床)の機能を移転し、回復期リハビリ病棟56床を設置しました。

●本館6階【病棟】
東2階病棟(病床数40床)の機能を移転し、障がい者施設等病棟46床を設置しました。



●本館7階【病棟】

三才山病院5病棟(病床数36床)の機能を移転し、障がい者等病棟51床を設置しました。

●本館8階【病棟】
三才山病院3病棟(病床数55床)の機能を移転し、障がい者等病棟51床を設置しました。

なお、本館7階病棟と8階病棟の合計102床のうち、90床は指定療養介護事業所の指定を受けています。



秋の味覚 サンマ

サンマは9月から11月が旬の魚で、秋の味覚の1つです。代表的な産地として北海道や三陸沖での水揚げが盛んです。サンマの選び方としては、背中が青黒く光っていて身の締まりやハリがあるもの、太っているものが良いと言われています。

サンマは蛋白質・脂質を多く含む栄養豊富な食材ですが、旬のものは特に栄養価もおいしさも一段と増すとされています。また、栄養素の中でもDHA（ドコサヘキサエン酸）とEPA（エイコサペンタエン酸）が多く含まれるのも特徴です。DHAやEPAは脂肪酸の一種で、余分なコレステロールや中性脂肪を減らし、動脈硬化・血栓を予防する効果があると言われています。また、脳の働きを高め、記憶力や集中力を高めることにも効果的と言われています。

サンマの調理法といえば塩焼きなど加熱調理が多いですが、DHAやEPAを効率的に摂取するためには生での調理がおすすめです。今年の秋はサンマをお刺身や漬け丼、マリネなどにして召し上がってみるのはいかがでしょうか。



鹿教湯病院 栄養科 手塚 渉

栄養科おすすめ★季節のレシピ

サンマのカルパッチョ

▼材料 (2人分)

- ・サンマ(生食用) 140g
- ・玉葱 中 1/2 玉
- ・トマト 1/4 玉
- ・大葉 2~3枚

- ・レモン汁 大さじ 2
- ・オリーブオイル 大さじ 1.5
- ・塩 小さじ 1/2
- ・ブラックペッパー 適量
- ・おろしにんにく(お好みで)

ドレッシング

▼作り方

- ①サンマは一口大にカットしレモン汁(分量外)でマリネする。
- ②玉葱は細くスライスして水にさらし、辛味を抜く。辛味が抜けたら水気をよくきる。トマトは角切りに切る。大葉は細切りにしておく。
- ③ドレッシングの材料を全てボールに入れてよく混ぜる。
- ④玉葱とトマトを③のドレッシング半量に絡ませておく。
- ⑤①のサンマはキッチンペーパーなどで水気をきる。
- ⑥お皿に④をのせ、その上に⑤をのせ、ドレッシングをかけて、最後に大葉をのせて完成。

▼栄養成分 (1人当たり)

- エネルギー 345kcal
- たんぱく質 12.6g
- 脂質 28.7g
- 炭水化物 7.1g
- 食塩相当量 1.7g



※画像はイメージです

豆知識

EPAとDHAはn-3系脂肪酸の一種であり、生体内で合成できない必須脂肪酸と言われてます。n-3系脂肪酸の目安量は成人男性で2g程度、女性では1.5~2g程度です。この献立1人分に含まれるEPAは1050mg、DHAは1960mgと合計3g以上摂取でき、1日の目安量を満たすことができます。



三才山病院閉院式を開催しました



去る9月23日土曜日に三才山病院体育館にて「三才山病院閉院に伴う感謝の集い」を開催しました。

この集いには、三才山病院34年の歴史を支えた元職員をはじめ、三才山病院創設当初から現在も在職している職員を中心とした約60名が参加しました。

歴代院長および歴代事務長の挨拶に始まり、閉院式に先立って掘り出したタイムカプセルの説明、記念講演では「写真と共に振り返る34年の歩み」と題し、奥鹿教湯温泉病院の変遷から三才山病院34年の歴史について黒岩院長を中心としたメンバーで語り合いました。



最後は三才山病院歌とふるさとを合唱し、参加者全員で記念撮影を行いました。閉院式は、最終笑顔が絶えることなく和やかな雰囲気で行われ、過去の思い出話に花を咲かせました。参加者からは、閉院を惜しむ声とともに、新たな門出に期待する声も多く聞かれました。

歯科の甘利先生が日本有病者歯科医療学会学術大会にて優秀賞を受賞しました

私たちのグループでは、脳血管障害で起こる嚥下障害(飲み込む機能の障害)による嚥下機能の改善にはどのような要素が関連するのかを研究しました。統計的な調査を行ったところ嚥下機能の改善には全身の機能の改善も関与することが分かりました。嚥下機能の改善の為に飲み込みの訓練だけでなく、頸部や体幹部といった全身のリハビリも非常に重要となると考えられ、言語聴覚士、理学療法士、作業療法士といった他職種との連携が大変重要となるといえます。

今後、この研究を役立てるよう、日々の診療に尽力していきたいと思えます。



日本呼吸ケア・リハビリテーション学会甲信越支部学術集会優秀演題賞を受賞いたしました

2015年から、慢性呼吸器疾患看護認定看護師(CRCN)として「看護呼吸器外来」を開設し、患者さん・ご家族と関わってきました。Aさんは「最期を自宅で過ごしたい」と望みましたが「家族に迷惑をかけるから」と、その思いを家族に伝える事ができませんでした。ですが、ご家族からも「本人(Aさん)の希望を叶え自宅で最期を」との思いがあり、「自宅で最期」を迎えることができた症例を発表させて頂きました。双方の思いを実現できた背景には看護呼吸器外来を通じた長期間の関わりができたからだと思います。患者さん・ご家族の「大切な声」を聞き逃さず今後もケアを提供して参ります。



慢性呼吸器疾患看護認定看護師 西澤 ひろ美

長野県理学療法学会で最優秀賞を受賞いたしました

地域包括ケア病棟ではリハビリの回数は限られています。そこで当院包括ケア病棟では個別のリハビリに加えて、集団体操や集団レクなどを通して患者さまの活動場を提供しています。「少ないリハビリで本当に効果があるのか」、「集団体操は効果的なのか」を今回検証したところ、少ないリハビリでも筋力や生活機能といった全般の機能改善に効果的であることが分かりました。また集団体操に多く参加して頂くことでバランス機能がより改善することが分かりました。今後とも地域包括ケア病棟の支援内容を検討し、地域の皆さまに安心して医療が受けられる事ができる体制を整えていきたいと考えております。



理学療法士 樋口 登

お知らせ

人間ドックのご案内

予約申込はこちら

TEL 0268-44-2155 (直通)

受付時間/月～金曜日 9:00～17:00

予約状況はこちらから

鹿教湯病院ドック 🔍 検索

お知らせ

入院のご相談・ご希望など

お問い合わせは【地域医療連携課】

TEL 0268-44-2111 (代表)

FAX 0268-41-7080 (直通)

受付時間/月～金曜日 8:30～17:00

外来担当医表

2023年10月

※担当医は都合により変更になる場合があります。

鹿教湯病院		☎0268-44-2111 (代)					
		受付時間	月	火	水	木	金
内科	内科	午前 8:30～11:00	田中	伊沢・黒岩 (要予約)	信大	宮城	伊澤(第3のみ)
	脳神経内科		鈴木	宮坂	片井	片井・信大	吉田・木下(朋)
	呼吸器内科		小林(俊)	小林(俊) (要予約)	信大	平井	小林(俊)
循環器内科		午前 8:30～11:00	信大	若海			
心臓血管外科		午前 8:30～11:00					井手
脳神経外科		午前 8:30～11:00		かわらぶき 瓦葺	佐藤		
整形外科		午前 8:30～11:00	樽田	木下(久)	信大	木下(久)	木下(久)
リハビリテーション科		午前 8:30～11:00			森泉・丸田	泉(月1回午後)	
歯科	午前 8:30～11:30	小林(健)	小林(健)	小林(健)	小林(健)	小林(健)	小林(健)
	午後 1:00～ 4:30	甘利・二本	甘利・二本	甘利・二本	甘利・二本	甘利・二本	甘利・二本
リウマチ・膠原病内科		午前 8:30～11:00					信大
外科(消化器)		午前 8:30～11:00		細谷			
皮膚科		午前 8:30～11:00		信大			
泌尿器科		午後 1:30～ 3:30				石塚・信大	
眼科		午後 1:00～ 3:00			信大 (第2・第4のみ)		信大
耳鼻咽喉科		午後 1:00～ 3:00		信大			
小児科		午前 8:30～11:00			(要予約)	(要予約)	
乳腺外科(完全予約制)		午前 8:30～11:00		石毛(第4)			
専門外来		午前 8:30～11:00		ロコモ・骨粗鬆症 (午前予約制)	義肢・装具 (午前予約制)		

豊殿診療所 ☎0268-29-1220(代)

		受付時間	月	火	水	木	金
内科・消化器内科		午前 8:30～11:30	戸兵	戸兵	渡邊 鳥飼(第3のみ)	戸兵	戸兵 大久保
循環器内科・脳神経内科		午後 1:00～ 4:30					

休診日

2023年

10月

11月

12月

鹿教湯病院

土曜・日曜

土曜・日曜

土曜・日曜

豊殿診療所

土曜・日曜

土曜・日曜

土曜・日曜

本誌をご愛読いただき、
ありがとうございます。
本誌に対するご意見・ご感想など
ございましたら、お気軽に右記まで
ご連絡をお願いします。

■鹿教湯病院 〒386-0396長野県上田市鹿教湯温泉1308 ☎0268-44-2111 FAX.0268-44-2117

■豊殿診療所 〒386-0004長野県上田市殿城250-4 ☎0268-29-1220 FAX.0268-29-1229

■老健いずみの 〒386-8688長野県上田市小泉72-1 ☎0268-26-6600 FAX.0268-26-6615

発行責任者 ■ 統括院長 大澤 道彦

<https://km-rehacenter.jp/>